

II 農場運営

雑誌名	鹿児島大学農学部農場年報
巻	7
ページ	8-18
発行年	2011
URL	http://hdl.handle.net/10232/21127

II 農場運営

1 総務事項

1) 人事異動

2011. 4. 1 昇任
桑畑 実代：附属農場事務係長（前附属農場事務係主任）
2011. 4. 1 異動
半渡 聡：附属農場事務係員（前理工学研究科等工学系事務課会計係員）
2011. 4. 1 新規採用
加世田素子：事務補佐員 附属農場事務係
- 2011.12.31 辞職
日高真衣子：事務補佐員 附属農場事務係
2012. 2. 1 新規採用
有田美和子：事務補佐員 附属農場事務係
2012. 3.31 退職
坂田 祐介：農場長・教授
中村 徹：技術職員（任期付職員）（唐湊果樹園）
花田 博之：再雇用職員（入来牧場技術職員）
原口 隆一：技能補佐員（入来牧場）

2) 技術職員研修

農場実習の高度化および充実を図るためには、技術職員の資質向上が不可欠である。農場では、技術職員の資質向上を最重要課題と位置づけて、以下のような各種の研修を実施した。

(1) バイオブシー技術研修

- 期間 平成23年 4月14日～15日
場所 九州大学農学部附属農場高原農業実験実習場
研修者 入来牧場 大島 一郎主任
入来牧場 石井 大介技術職員

(2) 技術職員交流研修

- 期間 平成23年 5月22日～27日
場所 九州大学農学部附属農場高原農業実験実習場
研修者 入来牧場 石井 大介技術職員

3) 農場施設の利用

農場では、学外・内を問わず広く施設の利用を受け入れている。

(1) 学外

(学内農場農事部)

- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成23年 4月12～15日 165名
内容：生活科の学習で春の自然や社会事象とふれ合う活動を行う
- ・伊佐市牛飼い婦人会「カーフマザーズ」液状石灰塗布研修会
時期：平成23年 4月13日 10名
内容：学内農場駐車場横道路の既液状石灰塗布地点の補修を兼ねて、学外畜産農家婦人会向けの液状石灰塗布研修会の実地研修
- ・鹿児島市立荒田小学校
時期：平成23年 4月14日 66名
内容：生活科「町を歩こう」「春をさがそう」の単元 町や農園等を歩いて春を探す
- ・鹿児島こども園
時期：平成23年 4月19日 12名
内容：園児のお散歩

Ⅱ 農場運営

- ・鹿児島市立荒田小学校
時期：平成23年4月25日 67名
内容：小学3年生理科「しぜんたんけん」の活動で農場周辺に生息している動植物を観察する
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成23年5月13～31日 173名
内容：大学周辺（畑や田んぼの周り）にいる生き物を探したり，つかまえたりする
- ・めぐみ幼稚園
時期：平成23年5月17日 58名
内容：幼児の体験活動のため（・いもの苗の植え方を知る ・土の感触を味わう ・自然の中でのびのびと遊ぶ）
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校 173名
時期：平成23年6月2～30日
内容：学内農場（田・畑）の付近にいる生物を探したり，つかまえたりする
- ・玉龍中高一貫教育校保護者
時期：平成23年6月22日
内容：平成23年度玉龍中高一貫教育校保護者への農学部紹介及び説明会
- ・鹿児島市立荒田小学校
時期：平成23年6月28日 81名
内容：生活科の学習の一環として，生き物の観察を通し，季節を体感する植物や動物の名前を知る
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成23年8月26日～9月5日 173名
内容：田や畑付近の自然を観察するため
- ・産学官連携推進機構
時期：平成23年9月20日 2名
内容：産学官連携推進機構への技術相談に対応した施設視察
- ・めぐみ幼稚園
時期：平成23年10月27日 62名
内容：春に植えたいものを収穫する（いもほりの経験），秋の自然の中でのびのびとあそぶ
- ・鹿児島大学教育学部附属中学校
時期：平成23年11月1～2日 5名
内容：職場体験学習
- ・JICA ブータン研修員の訪問
時期：平成23年11月1日 3名
内容：鹿児島県アジア・太平洋農村研修センターが受け入れるブータン研修員の農業研修
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成23年11月18～25日 180名
内容：生活科授業（田や畑の自然観察）のため
- ・鹿児島大学教育学部附属幼稚園
時期：平成23年11月21日 36名
内容：学内施設を知り，自然に触れたり，発見を楽しんだりする 友達と一緒に園外に出かける時の簡単な約束事を知り，守ろうとする
- ・社団法人 日本百済交流協会
時期：平成23年12月15日 20名
内容：韓国農業大学日本農業の視察
- ・玉龍中高一貫教育校中学1年生
時期：平成23年12月27日 5名
内容：体験学習
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成24年1月11～20日 175名
内容：畑や田の生き物の観察を行うため
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校

時期：平成24年3月19～23日 165名

内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気付き、季節感を養う

(学内農場 動物飼育棟)

・南日本放送テレビ制作部 MBC テレビ

時期：平成24年2月24日 3名

内容：MBC テレビ 3/15 (木) 19時放送予定 TEGE 2 (テゲテゲ) 「動物の赤ちゃん特集」取材・学内農場でトカラヤギの撮影のため

(唐湊果樹園)

・放送大学鹿児島学習センター

時期：平成23年7月9日 42名

内容：平成23年度1学期面接授業「鹿児島のくだもの」

・鹿児島大学教育学部附属幼稚園

時期：平成23年11月1日 71名

内容：みかん狩りをして、収穫の喜びを味わうとともに果樹園の方に感謝の気持ちをもつ
野山の様子を見たり、草花や虫と触れ合ったりして、秋の自然に親しむ

・JICA ブータン研修員

時期：平成23年11月1日 3名

内容：鹿児島県アジア・太平洋農村研修センターが受け入れるブータン研修員の農業研修

・鹿児島大学教育学部附属中学校

時期：平成23年11月1～2日 5名

内容：職場体験学習

(指宿植物試験場)

・武雄市営業部特産品課

時期：平成23年4月28日 4名

内容：武雄市における新たな農産物として熱帯果実の栽培を開始するにあたり、これら果実の生育条件等について調査を行う

・武雄市営業部特産品課

時期：平成23年6月22日 6名

内容：武雄市における新たな農産物として、熱帯果実の栽培を開催するにあたり、これら果実の生育条件等について調査を行う ライチ苗の購入

・中種子町役場農林水産課 農政係

時期：平成23年7月22日 3名

内容：植物試験場の先進的熱利用施設等の視察

・武雄市営業部特産品課

時期：平成23年9月14日 4名

内容：武雄市における新たな農産物として、熱帯果実の栽培を開始した
これら果実の生育条件等について実習・調査を行う

・屋久島町

時期：平成23年9月29日 3名

内容：亜熱帯果樹先進地研修

・鹿児島大学教育学部附属幼稚園

時期：平成23年11月21日 36名

内容：学内の施設を知り、自然に触れたり、発見を楽しんだりする
友だちと一緒に園外に出かけるときの簡単な約束事を知り、守ろうとする

(入来牧場)

・市来農芸高等学校

時期：平成23年10月11日 4名

内容：農場施設見学

・京都大学農学研究科等経理課

時期：平成23年11月11日 2名

内容：牧場肥育牛に関する枝肉売払実情調査、経理事務情報交換

Ⅱ 農場運営

- ・九州大学農学部附属農場高原農業実験実習場技術職員
時期：平成23年5月22日～27日 1名
内容：技術職員交流研修
- ・鹿児島市上本町友好会
時期：平成23年12月6日 15名
内容：友好会会員の親ぼく 友好研修，見聞を広める
- ・岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター
時期：平成24年3月7日 2名
内容：科研費（奨励研究）「口蹄疫防疫対策の調査—大学附属農場における対策整備のために」による各大学の防疫対策状況の制度と設備の調査・見学
- ・香川県立農業大学校
時期：平成24年3月9日 5名
内容：入来牧場の見学

(2) 学内

(学内農場)

- 4月21日 農業土木学実験 畑地の浸透能実験
(実験内容) 畑地に水が浸透する一次元浸透量を計測する (16名)
- 2月7～8日 作物生産学講座修士論文，卒業論文発表に係る交流会及び準備と清掃 (35名)
- 3月12日 植物生産学コース会議 (18名)

(唐湊果樹園)

- 2月18日 全大教九州農場部会，会場・圃場見学 (12名)

(指宿植物試験場)

- 4月15～16日 卒論，修論にかかる試験栽培準備 (3名)
- 4月29～30日 修論にかかる研究調査 (1名)
- 5月7～8日 卒論，修論にかかる調査準備 (4名)
- 5月20～21日 卒論，修論にかかる調査 (2名)
- 7月12～13日 平成23年度修士研究のための調査 (1名)
- 7月15～16日 平成23年度修士および卒業研究のための調査 (2名)
- 10月22～23日 修論にかかる調査 (1名)
- 11月5～6日 卒論・修論にかかる調査 (2名)
- 11月17日 地域貢献の一環として行っている熱帯果樹振興のための組織である指宿熱帯果樹研究会 (20名)
- 11月26～27日 卒論，修論にかかる調査 (8名)
- 12月10～11日 卒論，修論にかかる調査 (8名)
- 3月10日 地域貢献の一貫として行っている熱帯果樹振興のための組織である熱帯果樹振興会の打合せ (10名)
- 3月20～21日 農業市場学研究室のゼミ合宿 (12名)

(入来牧場)

- 4月12～13日 飼料盗食量調査 (1名)
- 4月20～21日 飼料盗食量調査 (1名)
- 4月26～28日 飼料盗食量調査 (1名)
- 5月26～27日 飼料盗食量調査 (1名)
- 5月28～30日 飼料盗食量調査 (1名)
- 5月31～6月1日 飼料盗食量調査 (1名)
- 6月7～8日 飼料盗食量調査 (1名)
- 6月16～17日 飼料盗食量調査 (1名)
- 6月28～29日 飼料盗食量調査 (1名)
- 7月21～22日 肥育牛舎の盗食量調査 (1名)
- 7月28～29日 肥育牛舎の盗食量調査 (1名)
- 8月6日 理学部オープンキャンパスにおける入来牧場内理学部1m光赤外線望遠鏡見学 (36名)

8月10日	SSH 実習（嘉穂高校）に伴う入来牧場内理学部 1 m 光赤外線望遠鏡見学（48名）
8月11～12日	肥育牛舎の盗食量調査（1名）
8月25～26日	肥育牛舎の盗食量調査（1名）
9月8～9日	盗食量調査（1名）
9月21～22日	平成23年度家畜人工授精師講習会（家畜人工繁殖学実習）実施（25名）
10月4～5日	飲水試験の予備試験のため（1名）
10月6～7日	盗食糧調査（1名）
10月20～21日	盗食量調査（1名）
10月20～24日	予備試験を行うため（1名）
11月1～23日	試験のため（1名）
11月3～4日	放牧試験のため（1名）
11月10～11日	肥育牛舎における野生哺乳類の盗食量調査（1名）
11月24～29日	肥育牛の飲水試験（1名）
11月25日	バベシア原虫の培養を行うため、黒毛和種雌牛1頭から血液を採取し、血清と赤血球を分離する（2名）
11月29～12月13日	実験を行うため（1名）
12月2日	抗生物質の耐性菌調査のため（子牛の糞便を採取）（2名）
12月3～4日	放牧試験（1名）
12月5日	牧場で実施している電気柵を利用したシカ害防止技術について鹿児島県の職員（4～5名）が研修のために訪問 牧場内の草地を見学するとともに、管理棟にて簡単な説明を行う（5～6名）
12月14～18日	試験を行うため（1名）
1月17日	バベシア原虫の培養を行うため、黒毛和種雌牛1頭から血液を採取し、血清と赤血球を分離する（2名）

4) 刊行物

鹿児島大学農学部附属農場年報，第6号（2012.3）
鹿児島大学農学部附属農場研究報告，第34号（2012.3）

5) 行事

4月5，6日 展示即売会および市民農業講座
7月8日 学内農事部田植祭
11月4日 唐湊果樹園収穫祭

6) 平成23年度全国大学附属農場協議会

(1) 春季協議会

日 時：平成23年5月12日～13日
場 所：フロラシオン青山（東京都港区）
参加者：遠城農場主事，朴植物部門主任

(2) 秋季協議会

日 時：平成23年11月14日～15日
場 所：ホテル常盤（山口市湯田温泉）
参加者：遠城農場主事，大島動物部門主任，片平技術専門職員（入来牧場），中園農学部事務長代理，桑畑農場事務係長，半渡農場事務係員，加世田農場事務係事務補佐員

(3) 九州地域協議会・技術職員研修

日 時：平成23年9月5日～6日
場 所：鹿児島大学農学部，鹿児島都市農業センター
参加者：岩元農学部長，坂田農場長，遠城農場主事，朴植物部門主任，大島動物部門主任，野村技術総括，田浦技術職員，城戸技術職員，福留技術専門職員，勘米良技術職員，谷村技術総括，新地技術専門職員，中野技術職員，松元技術専門職員，木山技術専門職員，廣瀬技術職員，石井技術職員，稲葉事務長，

Ⅱ 農場運営

中園事務長代理，桑畑農場事務係長，半渡農場事務係員，茂利農場事務係事務補佐員，加世田農場事務係事務補佐員，日高農場事務係事務補佐員

2 会計事項

1) 予算および決算

平成23年度の農場予算および決算は，第6表のとおりである。予算額97,914,284円に対し，決算額98,009,027円で，94,743円の不足が生じた。

第6表 平成23年度予算および決算

(単位：円)

施設名	当初配分額	追加配分額 および振替額	予算額	決算額	差引過不足額
農場実習経費	300,000	0	300,000	289,330	10,670
農場実習支援経費	39,847,000	2,681,787	42,528,787	42,422,771	106,016
農場運営経費	48,741,000	2,235,897	50,976,897	51,192,333	△215,436
主事	400,000	663,600	1,063,600	1,061,709	1,891
植物部門主任	400,000	50,000	450,000	449,950	50
動物部門主任	400,000	295,000	695,000	694,092	908
特任准教授	400,000	0	400,000	398,842	1,158
演習林より借入	0	1,500,000	1,500,000	1,500,000	0
合計	90,488,000	7,426,284	97,914,284	98,009,027	△94,743

2) 機械，設備および備品

本年度は，施設毎の機械，備品を中心に，第7表に示すように総額3,811,500円の予算を充当した。

第7表 平成23年度機械設備等の整備 (50万円以上 予算：自己収入)

機械設備名	メーカー・規格	数量	金額 (円)	施設名
ディスクハロー	レムケン社 8/300R	1台	2,814,000	入来牧場
ハウス用ヒートポンプ	イーズ社 SPW-AGCHVP180EN	1台	997,500	学内農事部
合計			3,811,500	

3) 施設整備

(1) 学内農場農事部

数年前より，作物生産に配慮した輪作体系を組み，田畑輪換も含めた作付け体系を実施している。しかし，元来が排水不良地であるため，畑作時における，湿害の発生がみられた。そこで，平成19年度の実習教育改善経費により，排水不良の2圃場（10号：約800㎡，と11号：約1,570㎡）に暗渠排水を敷設した。今後，輪作体系をみながら，2～3年の年次計画でその他の排水不良圃場にも同様の設備を敷設する予定である。

平成23年度補正予算にて暖房費の削減・切り花品質の向上を目的としてヒートポンプを導入した。暖房だけでなく冷房，除湿も出来ることから作物全般の周年栽培技術の向上が見込める。特に，学生実習の花弁部門での基幹作物であるトルコギキョウの品質の向上に期待される。

(2) 唐湊果樹園

不知火屋根かけ栽培用のパイプハウスが老朽化していたため職員で建て替えを行った。

6月に井水をくみ上げるための水中ポンプが故障した。この水中ポンプは設置から36年経過していたことから8月に更新となった。また，揚水ポンプ2機のうち不調であった1機も交換となった。ポンプの故障から復旧までの水の運搬作業には大変苦労した。

果樹園は唐湊墓地と隣接し，境界をフェンスで張り巡らせているが，一部倒壊し危険であるため早急な対策が必要であった。本年度は墓地から東側境界にかけてのフェンスが更新された。

(3) 指宿植物試験場

ここ数年，施設の加温に利用している温泉量が減少傾向にあるため，一部の温室やハウスでは，従来の温度確保がむずかしくなってきた。一時的な現象かどうかを見極める必要があるが，平成20年度に導入された「省エネルギー型生産技術開発システム」に利用する温泉量も減少しており，今後，湯量の確保に向けた方策が必要になる。

(4) 入来牧場

入来牧場管理棟は、竣工（1968）後、43年を経過し、壁面の亀裂、雨漏り等、老朽化が著しい。近年の女子学生比率増加に伴い、平成20年度は、平成19年度から繰り越した農場経費と大学本部経費により、女性用トイレと風呂の新設および職員室の改修を行っている。しかしながら、入来牧場管理棟2階部分（宿泊室、講義室）、1階部分（男子トイレ、風呂、食堂）および外壁の改修が課題として残っており、安全性確保の観点から早急な改修が望まれる。

(5) 学内農場畜産部

動物飼育棟は築28年を経過し、雨漏りなどの老朽化が目立ってきた。今年度も雨漏り防止のために、屋根の補修を行った。概算要求による全面改修を視野に入れる必要がある。

3 各種会議および委員会**1) 農場会議****(1) 委員名簿（任期2年 2011年4月1日～2013年3月31日）**

農場長（議長）	坂田 祐介
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
生物生産学科	
作物生産学講座	佐々木 修
園芸生産学講座	富永 茂人
病害虫制御学講座	津田 勝男
家畜生産学講座	中西 良孝
農業経営経済学講座	豊 智行
生物資源化学科	北原 兼文
生物環境学科	高木 東
獣医学科	出口栄三郎
事務長	稲葉 成人

(2) 会議記録

第1回：平成23年6月22日（水）13時00分～14時35分

- 議題 1. 平成23年度予算方針について
2. その他

第2回：平成23年7月28日（木）14時30分～15時35分

- 議題 1. 平成22年度附属農場決算（案）について
2. 平成23年度附属農場予算（案）について
3. その他

第3回：平成23年9月22日（木）10時30分～11時10分

- 議題 1. 平成23年度後期農場実習（案）について
2. 平成23年度後期施設等利用計画（案）について
3. その他

第4回：平成23年12月21日（水）10時30分～11時10分

- 議題 1. 共同獣医学部設置に伴う農場諸規則の改正について
2. 学内動物飼育棟屋根修理に伴う演習林からの借入について
3. その他

第5回：平成24年3月6日（火）10時30分～11時30分

- 議題 1. 共同獣医学部設置に伴う農場諸規則の改正について
2. その他

第6回：平成24年3月21日（水）10時30分～10時50分

- 議題 1. 平成24年度前期農場施設等利用計画（案）について
2. 平成23年度前期農場実習（案）について
3. その他

2) 農場運営委員会

(1) 委員名簿 (任期2年 2011年4月1日～2013年3月31日)

農場長 (委員長)	坂田 祐介
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
兼任教員	下田代智英
兼任教員	山本 雅史
兼任教員	高山 耕二
農事部技術総括	野村 哲也
唐湊果樹園技術総括	川口 昭二
指宿植物試験場技術総括	谷村 音樹
入来牧場技術総括	片平 清美
事務長代理	中園 康弘
農場事務係長	桑畑 実代
農場事務係 (業務担当)	半渡 聡

(2) 委員会記録

第1回：平成23年4月13日 (水) 15時00分～15時50分

- 議題 1. 平成23年度予算案の作成方針 (案) について
 2. 平成23年度予算執行などの流れについて
 3. 平成23年度全国大学附属農場協議会九州地域協議会について
 4. その他

第2回：平成23年5月11日 (水) 14時00分～14時40分

- 議題 1. 入来牧場堆肥譲渡などに関する申し合わせ (案) について
 2. 実習関係科目名 (案) の変更について
 3. 唐湊林園の利用に係る唐湊果樹園の通行について
 4. 農学部動物防疫対策会議委員の選出について
 5. その他

第3回：平成23年6月16日 (木) 9時00分～10時10分

- 議題 1. 平成23年度予算方針について
 2. その他

第4回：平成23年7月21日 (木) 9時00分～10時00分

- 議題 1. 平成22年度附属農場決算 (案) について
 2. 平成23年度附属農場予算 (案) について
 3. その他

第5回：平成23年8月31日 (水) 10時00分～11時10分

- 議題 1. 平成23年度後期附属農場実習 (案) について
 2. その他

第6回：平成23年10月26日 (水) 10時30分～11時30分

- 議題 1. 平成24年度展示即売会の日程と内容について
 2. 平成24年度秋季全国大学附属農場協議会の日程と内容について
 3. その他

第7回：平成23年12月14日 (水) 10時30分～11時30分

- 議題 1. 共同獣医学部設立に伴う農場諸規則の改正について
 2. 動物飼育棟屋根修理に伴う演習林からの借入について
 3. その他

第8回：平成24年2月9日 (木) 13時00分～13時40分

- 議題 1. 残予算の用途について
 2. その他

3) 農場実習教育委員会

(1) 委員名簿

農場長(委員長)	坂田 祐介
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
生物生産学科	
作物生産学講座	佐々木 修
〃	下田代智英
〃	佐藤 宗治
〃	一谷 勝之
園芸生産学講座	富永 茂人
〃	山本 雅史
〃	久保 達也
〃	吉田理一郎
〃	橋本 文雄
〃	清水 圭一
病虫害制御学講座	岩井 久
〃	中村 正幸
〃	津田 勝男
〃	坂巻 祥孝
家畜生産学講座	吉田 光敏
〃	大久津昌治
〃	三好 和睦
〃	岡本 新
〃	下桐 猛
〃	中西 良孝
〃	高山 耕二
生物環境学科	
環境システム学講座	岩崎 浩一
獣医学科	
臨床獣医学講座	大和 修
〃	小島 敏之
〃	窪田 力
〃	出口栄三郎
〃	高木 光博
フロンティアサイエンス	
研究推進センター	田浦 悟

(2) 委員会記録

- 第1回：平成23年9月7日(水) 10時30分～11時10分
 議題 1. 平成23年度後期農場実習(案)について
 2. 実習教育委員会経費について
 3. その他
- 第2回：平成24年3月12日(月) 13時30分～13時48分
 議題 1. 平成24年度前期農場実習(案)について
 2. その他

4) 附属農場施設等利用委員会

(1) 委員名簿

農場主事(委員長)	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰

動物部門主任	大島 一郎
作物生産学講座	一谷 勝之
園芸生産学講座	久保 達也
病虫害制御学講座	坂巻 祥孝
家畜生産学講座	高山 耕二
生物資源化学科	樗木 直也
生物環境学科	岩崎 浩一
獣医学科	高木 光博

(2) 委員会記録

第1回：平成23年9月12日（月）10時30分～11時00分

- 議題 1. 平成23年度後期施設等利用計画（案）について
2. その他

第2回：平成24年3月2日（金）10時30分～11時00分

- 議題 1. 平成24年度前期施設等利用計画（案）について
2. その他

5) 農場研究報告編集委員会

(1) 委員名簿

園芸生産学講座（委員長）	山本 雅史
農場主事	遠城 道雄
作物生産学講座	下田代智英
家畜生産学講座	大久津昌治
獣医学科	叶内 宏明

(2) 委員会記録

第1回：平成23年5月10日（火）10時30分～11時00分

- 議題 1. 農場研究報告編集委員会委員長の選出について
2. 鹿児島大学農学部農場研究報告投稿規定について
3. 鹿児島大学農学部農場研究報告原稿の募集について
4. その他

第2回：平成23年12月9日（金）14時30分～15時00分

- 議題 1. 農場研究報告34号受付原稿の校閲者の選定
2. 農場研究報告編集委員会内規および投稿規程の見直しについて
3. その他

6) 農場家畜防疫対策検討委員会

(1) 委員名簿

獣医学科 臨床獣医学講座（委員長）	出口栄三郎
獣医学科 病態・予防獣医学講座	高瀬 公三
獣医学科 臨床獣医学講座	小島 敏之
生物生産学科 家畜生産学講座	吉田 光敏
〃	岡本 新
獣医学科 臨床獣医学講座	高木 光博
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
入来牧場技術総括	片平 清美
入来牧場管理獣医師	山口 浩

(2) 委員会記録

第1回：平成23年4月22日（金）13時00分～14時35分

- 議題 1. 鳥インフルエンザに関する今後の対応について
2. 今年度の八重山高原星物語開催について
3. ラブマシーン（サンケンエンジニアリング社）の入来設置について
4. 理学部 VERA への学生入場にかかる入来牧場防疫体制緩和措置について
5. 今後の防疫体制緩和の方向性について
6. その他

第2回：平成23年6月29日（水）10時30分～11時40分

- 議題 1. 星物語のヤギ展示およびヤギ散歩に関して
2. 唐湊林園における豚放牧に伴う学内飼育棟への入場可否に関して
3. 養豚場への入場に伴う学内飼育棟への入場可否に関して
4. 各種教育研究に対する防疫委員会見解に関して
5. その他

第3回：平成23年12月26日（月）13時00分～13時25分

- 議題 1. 入来牧場老廃牛の出荷について
2. その他

4 入来牧場における牛白血病ウイルス（BLV）清浄化の進捗状況

平成19年10月、入来牧場における飼養牛の BLV 血清抗体価を調査した結果、検査頭数361頭のうち、陽性牛は210頭となり、全体の58%が牛白血病ウイルスに感染していることが判明した。この結果を受け、農場では平成20年1月以降、家畜防疫対策委員会を設置し、入来牧場の牛白血病ウイルス清浄化を、分娩管理および分離飼育の両側面から進めることを決定した。入来牧場では、直ちに清浄化対策を実施し、平成20年5月の調査において、BLV 陽性牛は183頭（358頭中）となり（陽性率51%）、7ヶ月で7ポイントの清浄化が達成された。さらに、平成20年11月には、BLV 陽性牛111頭（271頭中）で（陽性率は41%）、14ヶ月で17ポイントの清浄化を達成した。その後、BLV 陽性率は平成22年まで40%程度で推移した。入来牧場では教育研究に用いる次世代の牛を確実に生産、確保する必要性から、BLV 感染の有無に関わらず一定数の繁殖雌牛を保有する必要がある。そのため、平成22年までは BLV 陽性牛を安易に淘汰できなかったことが、清浄化の停滞の一因であった。平成23年からは、次世代の BLV 陰性牛が繁殖可能な月齢となり始めたため、BLV 陽性牛の淘汰を順次遂行した。その結果、平成23年1月には BLV 陽性牛69頭（194頭中）で陽性率は36%、平成24年2月には BLV 陽性牛41頭（180頭中）で陽性率23%に達し、平成19年以降、約52ヶ月で陽性率は35ポイント低下している。このことから BLV 清浄化は着実に達成されつつある。